

## トライアルの開始と管理

こんにちは このセッションでは、Alma でトライアルを開始/管理する方法を学習します

ベンダーによっては、評価期間を限定して電子リソースへのアクセスを提供しています

Alma のトライアルを設定することで、評価プロセスを管理し 機関内の選ばれた人々からのフィードバックを集め 購入の意思決定に役立てることができます

トライアルを設定するには、コミュニティゾーンで評価対象の電子リソースを見つけて [発注] をクリックして、発注明細を作成します

電子リソースを発注するときと同じように、発注明細の詳細を入力します

発注明細が完成したらトライアルオペレーターまたはマネージャーの役割を持っている場合は、[保存してトライアルを開始]をクリックします

購入オペレーターの役割しかない場合は [保存して評価をリクエスト]をクリックするオプションがあります

次に、トライアルオペレーターまたはマネージャーの役割を持つメンバーは [受入]>[トライアル管理]からトライアルを開始します

この場合、保存してトライアルを開始しましょう [トライアルの詳細]ページで、トライアルの開始日と終了日を入力します

トライアルを全体公開することも、招待者のみに公開することもできます

Alma は、トライアル終了の指定日前に トライアル参加者にフィードバックを行うためのリマインダーメールを送信することができます

[保存して続行]をクリックします

次に、[調査フォーム]タブでトライアル参加者向けのフィードバック調査を作成しましょう

[一般情報]と[質問]セクションでは 事前設定されたリストから質問を追加できます

または独自の質問を追加します

質問を必須として指定したり コメントも追加したりできます

[トライアル参加者]タブで一連のユーザーから複数の参加者を追加したり、個々のユーザーを追加したりできます

[概要]タブに戻り、調査リンクをコピーして、トライアル参加者に提供できます

[概要]、[調査フォーム]、および[参加者]タブに入力したら、[保存]をクリックします

これが[トライアル管理]ページのトライアルです

コピーしたリンクからアンケートフォームを見てみましょう ご覧のとおり、構成した質問がユーザーに表示されます

参加者は、[ポートフォリオリスト]タブと[電子コレクション]タブから目録にアクセスできます  
ここにフィードバックを入力し [送信]することができます

調査の設定が希望通りになったら トライアルの設定を続行します

[トライアル管理]ページに戻ります

電子リソースがアクティブ化されるまで、トライアルはドラフトステータスのままです

[開始日]が表示されます

それでは、[オプション]>[アクティブ化]でリソースをアクティブ化しましょう 確認してください

必要に応じて、アクティブ化されたリソースを今すぐ編集したり、ダイアログを閉じたりできます

アクティベーション時に、参加者にはトライアルが開始されたことが通知されます

[オプション]>[参加者に通知する]で通知を送信することもできます

購入が決定されるまで、トライアルステータスは[アクティブ]または[分析中]です

トライアル参加者は、トライアルの終了日の前にフィードバックを送信する必要があります

トライアルが終了したら、トライアルを編集して[アナリシス]タブでフィードバックを評価できます

ここでは、各質問に対する参加者の回答のチャートを見ることができます

結果は Excel スプレッドシートにエクスポートすることもできます

結果を確認したら、[概要]タブに戻って購入を決定します

[最も推奨される]などの適切な結果と結果の日付を選択します

決定がなされなかった場合、トライアルは[トライアル管理]ページに残ります

それ以外の場合は、適切な決定を選択して、編集内容を保存します

決定が購入ではない場合、購入オペレーターは注文明細をキャンセルできます

購入することを決定した場合 発注明細は、購入ワークフローの次のステップである 発注書への  
パッケージ化に進みます

ありがとうございました